

歴史的風致維持向上計画の認定について

平成 28 年 1 月
文部科学省・農林水産省・国土交通省

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称:歴史まちづくり法)」は、地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援すべく平成20年5月に公布され、同年11月に施行されました。

この法律は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定することで、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するものであり、これまで金沢市、高山市等49市町村の計画を認定しています。

このたび、法第5条に基づき認定申請があった神奈川県鎌倉市、福島県磐梯町の歴史的風致維持向上計画について1月25日に認定を行いました。これにより歴史的風致維持向上計画の認定数は51市町村となります。なお、今回認定を受ける各市町村の歴史的風致維持向上計画については、文化庁、国土交通省及び各市町村のホームページに25日以降に公開されます。

・文化庁 HP :

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/bunkazai/rekishifuchi/kojokeikaku.html

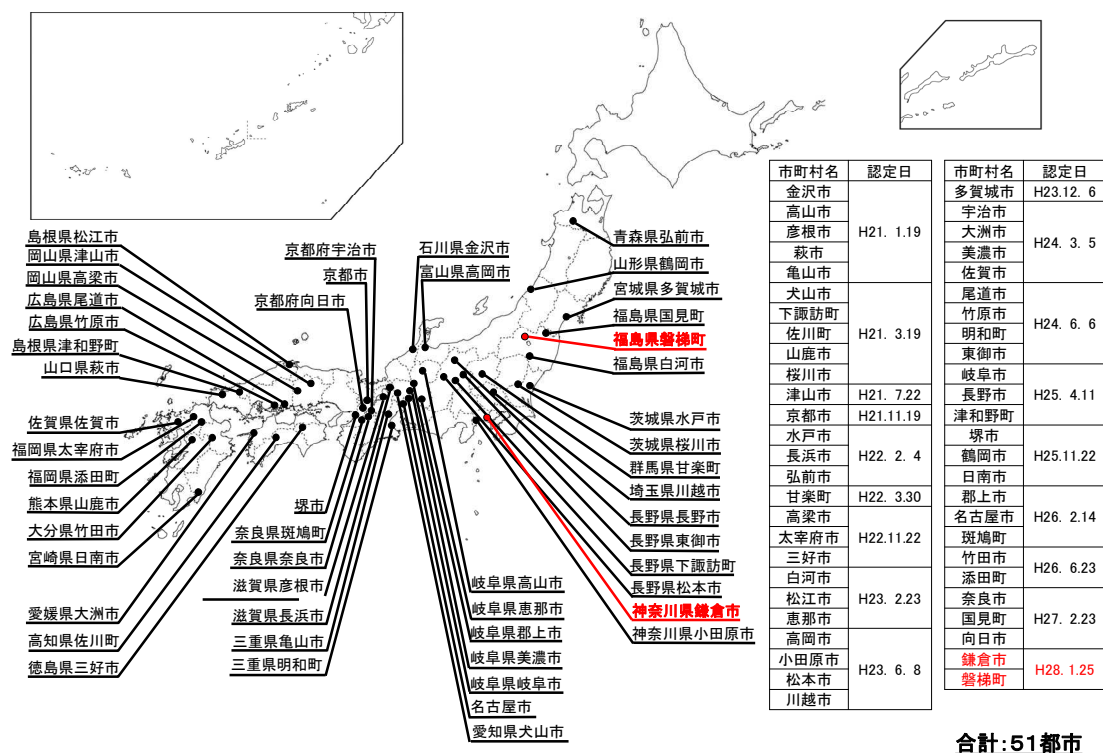


図 歴史的風致維持向上計画の認定状況

■各市町の計画の概要（申請順）

① 鎌倉市歴史的風致維持向上計画（神奈川県鎌倉市 認定申請日 H27. 12. 16）

国宝「円覚寺舍利殿」等を含み、鶴岡八幡宮における例大祭や御霊神社の面掛行列、山稜の保全活動等が受け継がれ、社寺や港跡、切通等の歴史的建造物が残る古都鎌倉区域を重点区域とし、歴史的風致形成建造物の保存整備や(仮称)鎌倉歴史文化交流センターの整備、風致保存会助成事業等が位置づけられています。



【鶴岡八幡宮の例大祭】

② 磐梯町歴史的風致維持向上計画（福島県磐梯町 認定申請日 H27. 12. 22）

国史跡「慧日寺跡」等を含み、慧日寺の継承・復元活動や磐梯山を中核とする山岳信仰、赤枝彼岸獅子舞等が受け継がれ、門前町や宿場町の歴史的建造物が残る大寺・本寺地区を重点区域とし、史跡慧日寺跡の整備・活用や歴史的まちなみの整備、伝統文化財継承事業等が位置づけられています。



【慧日寺跡に復元された金堂・中門】